

第4回定例理事会

11月18日
本部会議室
出席理事・監事27人

開発機など約50台や交流も

「未来遊技機試打会」(仮称)を承認

遊技をやめたか、またはやめようと思っ
ている方を対象にした「未

来遊技機試打会」(仮称)を、来
年2月26日に東京都墨田区江東橋、

すみだ産業会

館8階サンライ

ズホールで、遊

技機開発委員

会が中心となっ

て開くことが承

認された。試打

会の運営には遊

技機健全化委

員会、同友会遊

技機部会にも

協力を要請して

いく。また、社

会貢献・環境対

策委員会もエ

コ活動をテーマ

に企画に加わる

ことになってい

元ファンなど 対象に

遊技機開発委員会は今年度の基

本方針を、パチンコ・パチスロの

お客様の減少を食い止め、さらに

は増大につなげる遊技機の企画・

開発を行うこととし、具体的な事

業計画の中で、ファンアンケート

調査、未経験者・休止者の体験・

対面調査を実施した。これらの調

査結果を参考に、投資金額・消費

時間・面白さ・対価のバランスが

とれ、より長く遊びたいというニ

ーズに応えられるような低射幸性

パチンコ・パチスロ機(CRAA機)

を遊技機メーカー有志の協力で開

発している。今回の試打会の内容は、

パチンコ・パチスロをやめてしま

った元ファン、またはやめようと

思っているファンを対象に、

① 開発したCRAA機と現行機種

計約50台を並べて展示・試打

② ファンとのディスカッション

③ 現行機種のアワード(人気投票)

の3点を中心とする予定。その結

果を検討して今後の4円用遊技機

開発にフィードバックさせていく。

同委員会はさる5月、同じすみ

だ産業会館で行われた東京都・関

東支部主催の「中古機流通に関す

る点検確認等の勉強会」の会場で、

「大当たりまでの時間が早く、大

当たり中のゲーム性を楽しめる、

1円パチンコのエッセンスを持つ

た4円パチンコ機」として試作し

たCRAA機を展示し、業界関係

者が試打して好評を博した。(8

ページに関連記事)

推進機構への 経費負担決定

11月16日に開かれた一般社団法

人遊技産業健全化推進機構の臨時

総会で、2010年度の社員14団

体の各経費負担額が決定したこと

が報告された。総額で機構の今年

度予算額3億8000万円を上回

った。今後、機構は当該団体と個

別に支払い方法を含めた経費負担

に関する覚書を締結する。

来年2月の試打会などを承認した定例理事会



共生の森の 最終報告

10月30日に埼玉県嵐山町で行われた共生の森のイベントの最終結果が報告された。家族の植林、森の宝探しは台風14号の影響による荒天で中止されたが、日遊協ボランティア派遣隊、社会貢献・環境対策委員会メンバーなどの手で雨

の中、250本の苗が植えられ、家族連れは近くの屋内会場で工作教室や炊き出しの食事を楽しんだ。なお、イベントにはサンキョー(株)、(株)安田屋、ピーアークホールディングス(株)、(株)千歳観光、(株)富國物産、東和産業(株)、愛和食品(株)、三本コーヒー(株)、日本ペプシコーラ販売(株)の9社が協賛したことが報告された。

ていきたい旨の要請があった。篠原専務理事が遊技業法案をめぐる最近の動向を説明した。

8つの専門委員会で行なわれている事業の実施と進捗状況などが報告され、予算審議と質疑が行なわれた。

DECEMBER

12月の行事予定

2日(木)	15:00~17:00	広報委員会
6日(月)	10:00~16:50	取扱主任者更新講習・試験(東京・都市センターホテル)
7日(火)		中国・四国支部AED研修
8日(水)	15:30~	貯玉補償基金理事会
10日(金)	15:00~17:00	人材育成委員会
	15:00~17:00	社会貢献・環境対策委員会
14日(火)	15:30~17:00	経営改革委員会
17日(金)	13:00~15:00	遊技機開発委員会
	15:30~17:30	遊技機健全化委員会
20日(月)	13:30~14:30	不正対策室会議
22日(水)	13:00~16:00	セキュリティー対策委員会
28日(火)		仕事納め

11月6、7日に東京ビッグサイト「リクナビLIVE★開幕LIVE東京」に出展された日遊協の「パチンコ業界特集」ブースの結果が報告された。(2~5ページに関連記事)

11月13日に 臨時総会

昨年までの「パチンコ・パチスロ論文・作文コンクール」に代わる「第1回パチンコ・パチスロ『エッセー・絵手紙』コンクール」の作品募集が11月1日から始まったことが報告された。絵手紙については初の試みなので、会員各社の社員教育、新人教育の場などを利用して社員に浸透させ、エッセーとともに業界からの投稿を増やし

来年1月13日の第5回定例理事会の後、臨時総会、新年祝賀会の計画が発表された。場所はグラントアーク半蔵門で、午前11時に支部強化委員会を開き、午後1時半から理事会、臨時総会、記者会見、5時45分から新年祝賀会となっている。

広報委員会から「第1回パチンコ・パチスロ『エッセー・絵手紙』コンクール」について説明があった。支部強化、人材育成、経営改革、流通制度、遊技機健全化の各委員会の事業実施内容が報告された。

第2回政策検討連絡会

8委員会が活動報告 のイベントを審議

政策検討連絡会が11月18日、第4回定例理事会に先立って開かれた。

政策検討連絡会は年6回ある定例理事会のうち、原則3回の理事会(7、11、3月)に合わせて開かれ、全体の調整と進捗管理を図る。今回は7月に次いで2回目の開催で、会長、副会長、4創造室(明日の協会、産業、経営、遊技機)の室長、副室長、専門委員会委員長、支部長が出席した。

元ファン300人規模で

「試打会」でアワードなど検討



グループに分かれて未来遊技機試打会(仮称)の内容を話し合う遊技機開発委員会

ワード(人気投票)で構成される。試打会に展示される遊技機は未来遊技機(新しいコンセプトの低射幸性パチンコ・パチスロ機)、現状のパチンコCRAA機、パチスロ機など計50台程度が予定されている。試打体験の方法や会場のレイアウト、ディスプレイ・ブースに分かれての意見収集の進め方、アワードのやり方、正式名称などについて、11月末をめどにまとめることになった。

離反層に絞って、
体感してもらおう

試打会の目的は、お客様の離反をくいとめるとともに、離反したお客様を取り戻すこと。そのためとくに、離反したお客様に新しい低射幸性遊技機を体感してもらい、意見を収集して遊技機メーカー、ホールにフィードバックさせる。当初、対象として未経験者または

ヘビーユーザーも考えられていたが、未経験者はホールの騒音やたばこの臭いなどが先ず念頭にあって遊技機に対する関心にまで達していないこと、またヘビーユーザーは意見の内容が射幸性やマネアックな話になりそうなことなどからそれぞれ避けられ、離反した元・お客様や離反を考えているお客様を対象に集めることになった。この事業は今後継続して行うことを

流通制度委員会

11月9日
本部会議室
出席委員等16人「取扱主任」の試験増加
来年度、更新23、新規13回に

遊技機取扱主任者講習・試験の日程等を協議した。新規、更新の講習・試験が年1回ずつしか開かれない北海道地区をはじめ、各地で開催の増加を望む意見が多かったことを受けて、事務局側から2011年度については北海道、近畿、九州地区で計4回の新規または更新講習・試験の増設が提案され、了承された。

これにより11年度の会場別の講習・試験予定回数は、札幌会場が

前提とし、東京以外の地区でも実施を考慮することになった。

8月に行なった「未経験者、休止者のパチンコ体験・対面調査」の最終報告書が提出された。新規のお客様やプレーをやめた元・お客様をホールに迎える施策を考える材料として、また新しい遊技機開発の参考として期待される。(22ページに最終報告書の概要)

新規1、更新2(1回追加)、仙台会場が新規1、更新2、東京会場が新規4、更新7、名古屋会場が新規2、更新3、大阪会場が新規2、更新4(1回追加)、広島会場が新規1、更新2、福岡会場が新規2(1回追加)、更新3(1回追加)となり、更新が年1回しかない地区がなくなった。また、福岡会場の新規・更新各1回増は、広島会場と兼ねる形を想定している。遊技機取扱主任者講習・試験は、10年度は全国で更新が20回、新規が12回(11年1月予定の東京会場を含む)行われているが、11年度は更新23回、新規が13回行われることになる。

来年2月26日に東京・すみだ産業会館で予定している「未来遊技機試打会」(仮称)が政策検討連絡会で説明され、定例理事会で承認されたことを受けて、具体的な検討作業に入った。企画案では、参加の対象は「パチンコ・パチスロから離れた元・ファン」が中心で、300人規模とする。内容は試打会、参加者からの意見収集、遊技機ア

広報委員会

11月11日
本部会議室
出席委員等8人

順調に進むPR強化 新規の「絵手紙」部門で

11月1日から募集を始めている「第1回パチンコ・パチスロ「エッセー・絵手紙」コンクール」の今後のタイムスケジュールとPR活動の進捗状況が説明された。

特に今回初めての募集となる絵手紙については、今後もPRに重点を置き、日遊協関連のイベント、

絵手紙って簡単!

あなたの思いを絵と言葉で



作品例協力：日遊協広報委員会

エッセーの投稿もよろしく!

また、一般に向けては公募雑誌に募集記事を掲載した。日遊協ホームページにギャラリーのページを設けたり、ツイッターを活用する意見が出された。

会員各社の社員教育の場などを利用し、来年2月末の締め切りまでにさらに浸透させていくことになった。すでにいくつかの業界団体の広報誌(11月、12月発行号)にコンクールのチラシを挟み込んでそれぞれの団体の会員に送付してもらったほか、「共生の森」でのイベント(10月30日)に絵手紙コーナーを設置して親子に描いてもらったり、東京ビッグサイトでの「リクナビLIVE★開幕LIVE」の日遊協ブースを訪れた学生たちにチラシを配り、関心を持った人に説明した。



連日のように会議の行われる日遊協会議室には、広報委員会委員による応募の参考例を出してPR

第1回パチンコ・パチスロ

エッセー 絵手紙

コンクール応募要項

テーマ(一般、業界ともに同じ)

「パチンコと私」「パチスロと私」「未来のパチンコワールド」

- エッセー、絵手紙ともに、テーマの中から自由に選んで応募して下さい。
- エッセーは2000字以内でまとめて、なるべく電子メールで送稿してください。
- 絵手紙は市販のハガキに絵と文字で作成してください。
- 住所・氏名・年齢・職業・電話番号(携帯も可)を明記して、電子メールまたは下記事務局まで封書でお送りください。

募集期間 2010年11月1日(月)～2011年2月28日(月)

発表 2011年6月9日(日遊協ホームページ)

エッセー 最優秀賞 旅行券30万円分1人 優秀賞 旅行券10万円分2人
絵手紙 最優秀賞 旅行券15万円分1人 優秀賞 旅行券5万円分2人
その他入賞多数(エッセー佳作2万円分10人、絵手紙佳作1万円分10人)

応募先及びお問い合わせ先

E-mail: bosyu@nichiyukyo.or.jp

社団法人日本遊技関連事業協会コンクール事務局

〒104-0033 東京都中央区新川2-12-15 ヒューリック八丁堀ビル2F

TEL 03-3553-4333 FAX 03-3553-4334

http://www.nichiyukyo.or.jp

応募された個人情報については、個人情報に関して掲載される法令や規範を遵守し、コンクールの目的以外には一切使用致しません。

主催 社団法人日本遊技関連事業協会 協賛 全日本遊技事業協同組合連合会・日本遊技機工業組合・日本電動式遊技機工業協同組合・全国遊技機商業協同組合連合会・回胴式遊技機商業協同組合・遊技場自動サービス機工業会

経営改革委員会

11月6日
本部会議室
出席委員等16人

労働問題の情報提供へ

経営コンサルタント、瀬本博一氏(株)CES代表取締役、NPO法人PRENET代表)がアド

バイザーで出席し、消費税問題とは別に今後、委員会で取り上げていく重点課題の労働問題について討議した。

ホールの管理職の定義、セクシャルハラスメントやパワーハラスメントなど、経営の一助となる情報提供を行っていきたいとしている。

地元組合などと勉強会共催へ

日遊協北海道支部が10月28日、札幌方面遊技事業協同組合、札幌遊技業協同組合、札幌遊技業支配人会と共催して札幌市で開いた健全営業推進セミナーの報告があり、これを参考に来年度以降の不正対策勉強会の方向性を討議した。

札幌のセミナーにはホール関係者を中心に約450人が参加した。一方、6、7月に東京、名古屋、福岡、広島、大阪の5会場で日遊協各支部が単独で開いた不正対策勉強会は、1会場当たり140〜230人、計920人が参加した。健全営業推進セミナーも日遊協不正対策勉強会も、ホール最前線に働く人たちにコンプライアンス営業の向上をはかってもらうことが目的だが、今後、より広く参加者を集めるためには日遊協支部の単独開催ではなく、地元の組合などの共催を考えていくことになった。また、講演者についても固定せず、広く日遊協会員の中のセキュリティ関連企業から選んでいく方針を決めた。

ゴト師が来た際の対応など、ホールが知っておくべきマニュアル作りの必要性が討議された。これに関連して、日遊協が教材用に作成した「遊技機不正防止マニュアル」を委員会メンバーが中心になって改定作業をする旨の意見が出された。同マニュアルは96年に発行され、01年まで5回の改定が行われているが、ゴト被害の実例で取り上げている遊技機がいずれも古く、実情にそぐわなくなっている。

遊技機開発委員会から鏡味委員



来年度の不正対策勉強会の方向性を協議した遊技機健全化委員会

長が出席し、来年2月26日に東京・すみだ産業会館で予定している「未だ遊技機試打会」(仮称)について、当日の機械搬入・出、お客様への対応など運営面で遊技機健全化委員会メンバーの協力を要請した。同委員会は出来る限り協力する旨回答した。

社会貢献・環境対策委員会

11月12日
本部会議室
出席委員等11人

「エコ対策の展示など」 3月に「環境フォーラム」

社会貢献・環境対策委員会主催の環境フォーラムを、来年春の東京都・関東支部総会と合同で開く計画が提案された。東京都・関東支部総会は来年3月30日、東京・新宿のハイアットリージェンシー東京での開催が予定されている。内容は、現在ホール5団体で取り組んでいるエコホール宣言の発表、エコ対策の現状等の説明、社会貢献・環境対策委員会の活動内容、パネル展示、共生の森のビデオ上映、遊技機開発委員会で作られている新しいコンセプト機の展示などが考えられている。

10月30日に行われた「共生の森」(埼玉県嵐山町花見台地区)の第3回植林イベントの結果が報告され、来年のイベントの検討を次回の委員会から始めることになった。第3回では、家族の植林は台風14号接近による荒天のため中止され、日遊協ボランティア派遣隊など大人だけで250本の植林を行った。親子連れは現地に近い花見台工業団地管理センター講堂で森の工作教室、竹鉄砲、絵手紙づくりを楽しみ、昼食は特製シチューなどのごちそうに舌鼓を打った。

「エコアクション21」を説明

会議の冒頭、(株)エンピズ総研が「エコアクション21認証・登録制度」について説明した。エコアクション21は企業が環境への取り組みを効果的、効率的に行うことを目的に、仕組みづくり、取り組み、それらの継続的な改善、結果の公表など。それについて環境省がガイドラインを策定し、そのガイドラインに基づいて取り組みを行う事業者を審査し、認証・登録する制度。説明では、簡易で中小企業を取り組みやすいシステムであることが強調された。